



ラオス・クリーン農業開発プロジェクト

クリーン農業ニュースレター

第10号 2020年12月発行

このプロジェクトは5年間（2017-2022）の JICA による技術協力プロジェクトで、ビエンチャン市、ルアンパバーン県、サイヤブリ県及びシェンクワン県の4つのパイロット県を対象としています。プロジェクトは、パイロット県における市場ニーズに基づくクリーン農業（有機農業及び GAP）の推進を目的として活動しています。

最近のトピックス

1. トンマン村の試み

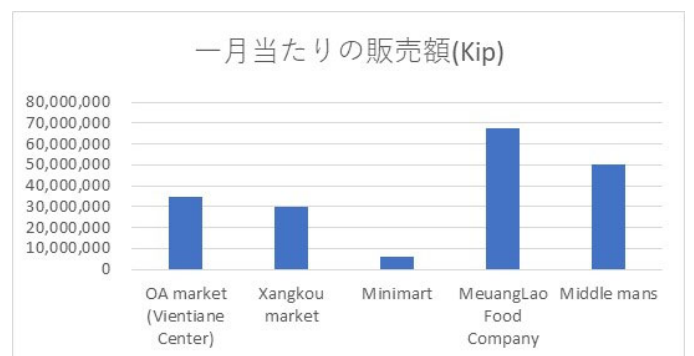
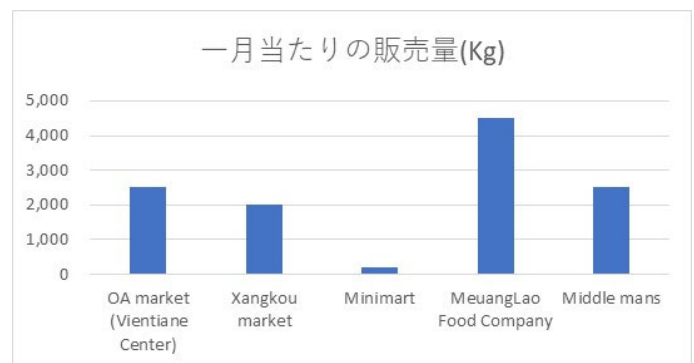
トンマン村はビエンチャン市の中心部から 50 キロに位置しています。2016年6月に12農家からなる有機農業（OA）グループとして設立し、約1.5haの農地にて活動を開始しました。現在は44農家によって、農地面積は39.5haに拡大し、ビエンチャン市内の Vientiane Center OA マーケットをはじめ、市内のスーパーマーケットや食料事業会社等に野菜・果物の販売を行っています。この OA グループの特徴は、生産計画づくりと販売戦略に優れている点です。特に、販売の効率化と販路の拡大においては、OA グループ内に独自のマーケティング・チームを設け、グループ・メンバーから農産物の買取りを行うことで、一元的な販売管理を行っています。また、SNS 等を利用し、販売促進の取り組みも行っています。



小売店に出荷されるトンマン村の野菜

更に今年9月末、OAグループは正式にトンマン OA 協同組合として設立し、野菜・果樹の販売以外にも、畜産を含めた有機加工食品等の多角化を目

指しています。この様に、トンマン村は有機農業の推進において先駆的な役割を担っており、プロジェクトでは必要な技術支援を行うことで、ビエンチャン市のみならず広くラオス他地域への波及効果を期待しています。



2. 簡易土壌分析手法の紹介

プロジェクトでは2020年の11月から12月にかけて、主に対象4県の県職員並びに7郡（ビエンチャン市4郡、ルアンパバーン県1郡、サイヤブリ県1郡、シェンクワン県1郡）の郡職員を対象に簡易土壌分析手法の紹介を行いました。土壌に突き刺す形で測定可能な pH メーターと EC（電気伝導度）メーターを使用した pH と EC の測定方法、手を使った簡易土性診断方法、およびステンレス製定規を利用した作土深の測定方法を紹介しました。同時に、圃

場の位置を特定し面積を測定するためにGPSの利用も紹介しました。県・郡職員に加えて、クリーン農業基準センター（CASC）の職員やビエンチャン市の農家も一部参加し、合計 30 名がこの簡易土壌分析手法を学びました。

県・郡職員は、実際に対象村落のいくつかの圃場で紹介した手法を使って簡易土壌分析を行いました。それぞれの圃場で得られた結果は、その場で県・郡職員から農家へフィードバックがなされました。簡易土壌分析を実施した有機農家の圃場はビエンチャン市 20、シェンクワン県 12、ルアンパバーン県 4、サイヤブリ県 3 で、合計 39 になります。得られた情報を基に、プロジェクトでは引き続き、対象地域の土壌改善に努めていく予定です。



圃場で土壌の pH、EC、作土深を確認する県・郡職員



簡易土壌分析を実施したシェンクワン県の圃場

0A 現場からの声

このコーナーでは、対象県で有機農業推進に尽力しているキーパーソンに焦点を当て、発信しています。今号ではビエンチャン市サイフォーンヌア村の有機農業グループ長サンティパープ氏を取り上げます。



サンティパープ・ヴォ
ンパクディー氏

（サイフォーンヌア
村有機農業グループ

サンティパープ氏はグループ長であるとともに海外のトマト品種の他、キュウリやインゲンを栽培している農家でもあります。栽培手法や知識はハワイでの 8 年の実際の経験を通じて学びました。ラオスに帰国後も、自身の知識と経験を生かして有機農業を実践しようと思いました。当時、有機野菜の人気も高まっていて、価格もいいと判断しました。サンティパープ氏は 6,400m² の圃場で、消費者と自身の健康に悪影響のある化学物質を使用しない形で多くの有機野菜を栽培しています。

化学肥料の価格が高いことも有機農業を始めた理由の一つです。毎月 25 日はグループで集まり意見交換を行っています。メンバー全員が堆肥や自然農薬を自身で作成でき、生産費を削減しています。また市場に供給するために、メンバー間で作物の重複がないように調整を行っています。

トマト栽培の経験が豊富なことから、トマトを主要作物としています。病害虫対策として、多くの品種を栽培しています。彼が作るトマトは、甘くておいしく、他の食材とともに料理出来ることから OA 市場でも人気があります。トマトは収穫するまで 3 か月かかり、その後 3 か月収穫できます。OA マーケットで販売する他にミニマートにも出荷しています。また、圃場に行きに来る人も多くいます。